

古典学習についての生徒の意識

—— 中学との関連をふまえて ——

筑波大学附属駒場中・高等学校 国語科

石田城之助, 勝田 和学
鈴木 信好, 高井 霞
日野 得隆, 松井 一夫
梶 繁

古典学習についての生徒の意識

石田城之助，勝田 和学，鈴木 信好
高井 霞，日野 得隆，松井 一夫
梶 繁

(はじめに)

本校では、各教科とも中・高一貫教育に重点をおいている。したがって、国語科においても中・高一貫の指導体系を確立し、効果的な指導法によって生徒の学習に対する関心・意欲を高めたと考えている。

この目的達成のため、第1次計画として古典学習を取り上げ、生徒の意識を調査し、中・高連繫時における諸問題を探ってみた。調査はアンケート形式により、毎年6月下旬に実施している。

(経過)

51年度 第1回意識調査

対象・本校生徒 中3 117名 高1 153名

10月 全附連第18回高校教育研究大会に発表

本校「研究報告，第15・16集」に収録

52年度 第2回意識調査（前年度のアンケートに修正を加えて実施した）

対象・協力校 C校 高1 90名 高2 52名

本校 中3 119名 高1 158名 高2 149名 高3 125名

11月 本校教育研究会に発表

53年度第3回意識調査結果報告

1. 調査時期 昭和53年6月下旬
2. 調査対象 中3 241名 協力校A校 本校
高1 624名 協力校A・B・C・D校 本校
高2 618名 協力校A・B・C・D校 本校
高3 146名 本校

3. 調査協力校及び本校の性格・使用教科書

A校 私立・男子・中高一貫

教科書 中・東京書籍

高・尚学図書（古文）講談社（漢文）

B校 私立・共学（男女比 約1：2）

教科書 高・第一学習社 高1から高2の初めにかけて「竹取物語」全文を学習し、その後、中世の作品に入る。

C校 都立・共学（男女比 約1：1）

教科書 高・角川書店（古文）尚学図書（漢文）

D校 都立・共学（男女比 約5：2）

教科書 高1 学校図書（古文）

高2 角川書店（古文）

本校 男子・国立・中高一貫

教科書 中・三省堂

高1高2 角川書店（古文）尚学図書（漢文）

高3 明治書院（古文）大修館（漢文）

4. アンケート調査の項目・内容

項目Ⅰ 古典学習の意義・目的

項目Ⅱ 古典学習上の興味・関心

項目Ⅲ ㊸古文の表現 ㊹古語について、学習上の困難度・興味の程度

項目Ⅳ 文語文法について、学習上の困難点

項目Ⅴ 興味を持った古典作品名とその理由

項目Ⅵ 今後読んでみたいと思う古典作品（作者）名

項目Ⅶ 古典の授業の進め方に対する要望

（1）授業の形態

（2）使用する教材（テキスト）の形（姿）

（3）㊸古語 ㊹文語文法の取り扱い方

項目Ⅷ 古典を学習し始めてからの生徒の意識上の変化

5. アンケートの結果

その一（記号による回答の集計）

その二（記述内容の分類と集計）

なお、ご協力くださいました各校に対し、厚く御礼申し上げます。

○ 本校附属中学校以外の中学校から進学した生徒の中学時における古典学習の実態

本高校の学級構成は、全クラスとも本中学校以外の中学校からの進学者と、本中学校からの進学者が約1：3の割合にある混成学級である。

本校では中学3年の二学期ごろから古典教材に合わせて文語文法を学習させているが、他中学校からの進学者は、出身校もまちまちで、従って文語文法の学習にもムラが見られ、その多数の者は学習していない、というのが現状である。そこで、教室での古文学習指導の展開にあたっては、担当教師による何らかの指導上の工夫が必須の課題となる。

その場合、工夫の内容は

- a. 古文学習指導の目標をどこにおく(べき)か。
- b. 対象生徒の素質・能力・興味・関心・意欲の程度はどうであるか。

という二点と切り離しては考えられない。

そこで、本中学校以外の中学校から進学した生徒の中学における古典学習の実態と意識とを知るためにアンケートによる調査を行った。次の表はその調査の結果を表にまとめたものである。なお、この調査は51年度より毎年6月下旬に行われている。

(調査対象生徒数)

51年度(44名) 52年度(44名) 53年度(39名)

(調査の項目と結果)

アンケートの結果(その三)

(調査対象生徒の学年別人数)

(単位：人)

学 年 度	中 3			高 1						高 2						高 3						
	52	53		52			53			52			53			52	53					
項目 校名	本	A	本	計	C	本	計	A	B	C	D	本	計	C	本	計	A	B	C	D	本	計
回 答 者 数	119	122	119	241	90	158	248	124	125	122	97	156	624	52	149	201	109	128	102	134	145	618

アンケートの結果 (その一)

I 古典を学習する意義・目的はどの点にあると思いますか。

ア () われわれの祖先の生き方・考え方を知って、われわれ自身の生き方・考え方に役立てる。

イ () 昔の人々の生き方・考え方と、現代の人々の生き方・考え方の違いを知る。

ウ () わが国の歴史の具体的な事実を知り、また、それらの事象の時代的・社会的な背景を知る。

エ () 古文独特の表現 (かなづかい・言いまわしなど) や古語の意味・用法を知る。

オ () その他

(単位：%)

学 年 度	中 3			高 1						高 2						高 3						
	52	53		52			53			52			53			52	53					
項目 学校	本	A	本	計	C	本	計	A	B	C	D	本	計	C	本	計	A	B	C	D	本	計
ア	44	33	50	41	47	47	47	38	22	34	26	40	33	46	40	42	39	22	35	33	41	34
イ	40	43	41	42	30	30	30	27	34	30	26	45	33	29	30	30	29	34	35	33	32	33
ウ	35	34	24	29	34	35	35	41	38	43	38	35	39	48	28	33	37	37	27	52	37	39
エ	32	30	43	37	29	27	28	34	48	29	40	31	36	27	31	30	33	47	10	31	22	29
オ	22	13	11	12	3	16	11	12	6	7	6	16	10	6	21	17	22	3	13	10	17	14
計	173	153	169	161	143	155	151	152	149	143	136	167	151	156	150	152	160	145	121	159	149	148

II 古典を学習して、どういう点に興味・関心を持ちましたか。

- ア () 昔の人々の生活・習慣や考え方。
- イ () 作品の内容のおもしろさ・珍しさ。
- ウ () 古文独特の表現 (かなづかい・言いまわしなど)
- エ () 古語の意味・用法
- オ () その他

(単位：%)

学 年 度 学 校 項 目	中 3						商 1						高 2						高 3			
	52		53		計		52		53		計		52		53		計		52	53		
	本	A	B	C	D	本	計	本	A	B	C	D	本	計	本	A	B	C	D	本	計	
ア	57	59	49	54	42	53	49	60	38	52	42	63	52	66	60	62	71	35	68	60	57	57
イ	57	39	47	43	49	65	59	32	38	42	38	52	41	62	58	59	39	35	39	38	61	43
ウ	35	31	44	37	34	23	27	34	29	33	36	39	34	13	12	12	32	34	15	22	21	25
エ	11	13	10	12	6	5	5	16	19	13	4	11	13	7	10	9	6	16	3	9	5	8
オ	8	10	13	11	3	6	5	6	9	5	8	3	6	16	9	11	11	8	11	11	6	9
計	168	152	163	157	134	150	145	148	134	145	129	168	147	164	150	153	158	127	135	141	150	142

Ⅲ ㊤古文の表現 (かなづかい・言いまわしなど) についてどのように感じますか。

ア () たいへんむずかしいので、ほとんど興味を感じなかった。

イ () なかなかむずかしいが、読んでいるうちに興味を感じるようになった。

ウ () たいしてむずかしくはないが、あまり興味は感じなかった。

エ () 思っていたよりやさしくて、興味を感じた。

オ () その他 (㊤・㊦) の記号を明記して書きなさい。

(単位：%)

学 年 度 学 校 項 目	中 3			高 1						高 2						高 3								
	52 本	53		52			53			52			53			52 本	53 本							
		A	本	計	C	本	計	A	B	C	D	本	計	A	B			C	D	本	計			
ア	13	20	18	20	17	15	16	26	37	16	36	10	24	17	23	21	19	45	26	37	15	29	11	29
イ	61	50	67	59	49	65	59	40	43	56	48	68	52	54	54	54	53	34	48	44	61	48	56	51
ウ	10	14	3	9	17	11	13	19	16	16	6	8	13	13	13	13	16	17	14	17	13	15	14	18
エ	11	9	8	8	8	8	8	10	2	7	4	8	7	10	4	6	9	3	5	3	6	5	7	2
オ	12	7	8	7	7	6	6	6	2	4	3	8	5	6	9	8	6	5	6	4	5	5	14	2
計	107	100	104	102	104	99	102	102	101	98	98	103	100	100	103	102	104	105	99	106	99	103	103	103

Ⅲ ㊦古語について、どのように感じましたか。

- ア () たいへんむずかしいので、ほとんど興味を感じなかった。
 イ () なかなかむずかしいが、読んでいるうちに興味を感じるようになった。
 ウ () たいしてむずかしくないが、あまり興味は感じなかった。
 エ () 思っていたよりやさしくて、興味を感じた。
 オ () その他(㊦・㊧)の記号を明記して書きなさい。

(単位：%)

学 年 度 学 校 項 目	中・3			高 1						高 2						高 3										
	52 本	53 計		52 本	C	本	計	A	B	C	D	本	計	52 本	C	本	計	A	B	C	D	本	計	52 本	53 本	
		A	B																							
ア	18	25	29	27	16	11	13	28	35	20	41	18	28	35	34	34	34	28	45	32	49	19	34	34	21	32
イ	61	39	45	42	47	66	59	37	38	47	40	67	47	52	42	46	46	46	30	35	34	59	41	54	46	
ウ	11	14	10	12	19	13	15	20	19	15	9	6	14	8	9	9	9	11	19	16	15	12	14	14	17	
エ	6	13	6	10	10	4	6	9	5	9	3	4	6	4	1	2	8	4	4	6	2	5	5	2	1	
オ	11	8	14	11	4	6	5	8	2	4	3	6	5	4	15	12	9	5	5	6	4	6	14	2		
計	107	100	104	102	96	100	98	102	98	95	97	102	100	102	101	103	102	103	103	94	104	98	100	105	99	

IV 古文の文法（文語文法）について、特にどうい点について困難を感じましたか。

ア () 用言（動詞・形容詞・形容動詞）の活用（活用の種類や活用形）。

イ () 助動詞の活用（活用の種類や活用形）や意味・用法

ウ () 助詞の意味・用法

エ () 敬語（尊敬・謙讓・丁寧）の用法

オ () その他

(単位：%)

学 年 度 学 校 項 目	中			高 1						高 2						高 3								
	52 本	53		52			53			52			53			52 本	53 本							
		A	計	C	本	計	A	B	C	D	本	計	A	B	C			D	本	計				
ア	10	29	34	31	38	5	17	9	31	49	48	13	28	33	3	11	8	45	20	14	7	19	6	10
イ	23	66	40	54	57	56	56	55	46	48	32	73	53	58	50	52	47	61	69	77	55	62	68	50
ウ	30	41	35	38	20	50	39	35	28	31	11	56	34	35	49	45	52	29	41	51	39	42	53	40
エ	16	13	10	12	33	57	48	35	12	13	37	19	23	52	42	45	45	22	28	28	48	34	59	51
オ	56	7	37	22	10	10	10	15	30	8	10	9	14	4	15	12	13	11	12	3	6	8	22	8
計	135	157	156	156	158	178	170	148	147	149	139	170	152	181	160	165	165	168	170	174	154	166	208	158

V 今までに教室で学習したり、個人で読んだりした古典作品のうち、興味を感じた作品があったら、その作品名と興味を感じた理由を書きなさい。

ア () ある。

イ () ない。

(単位：%)

学 年 度 学 校 項 目	中 3			高 1						高 2						高 3										
	52 本	53		52			53			52			53			52 本	53 本									
		A	本	計	C	本	計	A	B	C	D	本	計	C	本			計	A	B	C	D	本	計		
ア	64	35	61	48	52	83	72	49	36	47	36	47	36	47	50	73	80	80	61	21	65	43	78	53	85	71
イ	32	56	39	47	41	16	25	46	50	46	55	25	43	21	19	20	19	20	35	73	33	50	21	43	15	23
計	97	91	100	95	93	99	97	95	86	93	91	97	93	94	99	98	99	98	95	95	98	93	99	96	100	94

VI 今後読んでみたいと思う古典作品は、どのような種類のものですか。なお、〔 〕の中には、特に読んでみたいと思う作品名または作者名を書きなさい。

- ア () 俳句・和歌・漢詩などの韻文学)
 ()
 イ () 日記・紀行文学 ()
 ウ () 随筆・評論文学 ()
 エ () 伝説・説話文学 ()
 オ () 軍記物語 ()
 カ () 物語(エ・オを除く) ()
 キ () その他 ()

(単位：%)

学 年 度 学 校 項 目	中			高 1						高 2						高 3								
	52	53		52			53			52			53			52	53							
		本	A	本	計	C	本	計	A	B	C	D	本	計	C			本	計					
ア	8	10	24	17	10	24	19	10	10	7	6	19	11	10	22	19	17	17	11	10	19	15	31	16
イ	30	15	24	19	23	21	22	18	16	25	16	22	20	23	29	27	14	23	15	13	26	19	32	25
ウ	31	19	20	20	23	38	33	15	10	14	21	36	20	23	34	31	25	13	20	11	30	20	33	21
エ	62	20	24	22	27	23	24	26	20	30	20	29	25	27	20	22	24	18	28	30	13	22	34	13
オ	50	39	41	40	13	42	31	28	8	16	21	42	23	13	16	15	38	9	16	19	20	20	35	12
カ	32	18	18	18	42	22	29	25	22	25	24	31	26	42	34	36	20	16	25	14	39	23	54	42
キ	11	8	8	8	8	9	9	10	5	4	9	12	8	8	17	15	11	1	11	14	9	9	21	12
計	224	128	159	143	146	179	167	128	92	121	116	190	133	146	172	165	149	96	125	112	157	128	241	141

Ⅶ 古典の授業の方法としては、どのようなものがよいと思いますか。

- (1) ア () 教師の解説・説明を主とし、時々生徒の発表をおりこむ。
 イ () 生徒の発表を主とし、時々教師がまとめの説明をする。
 ウ () 教師の解説・説明と生徒の発表とを半々くらいに組み合わせる。
 エ () 作品によって授業の方法を適当に変える。
 オ () その他

(単位：%)

学 年 度	中 3			高 1						高 2						高 3							
	52 本	53		52			53			52			53			52 本	53 本						
		ア	本	計	本	計	計	本	計	本	計	計	本	計	計								
ア	47	44	43	44	45	50	26	44	44	44	57	45	31	48	44	40	36	39	32	57	41	48	47
イ	12	7	7	7	7	4	18	2	5	2	6	6	6	1	2	7	5	5	10	6	6	2	3
ウ	19	18	20	19	17	20	22	25	16	12	19	21	21	12	14	25	27	18	28	10	21	10	10
エ	36	34	34	34	36	27	34	37	36	38	34	44	44	31	34	28	32	39	43	30	34	30	31
オ	13	9	12	10	4	8	13	1	4	12	8	10	10	23	20	16	10	8	8	3	9	25	14
計	127	112	116	114	111	120	116	108	111	109	106	121	112	115	114	116	109	109	121	106	112	115	105

- (2) ア () 全部現代語訳されたものを教材として使う。
 イ () 一部原文 (注釈つき) ・一部現代語訳されたものを教材として使う。
 ウ () 一部原文 (注釈つき) ・一部対訳のものを教材として使う。
 エ () 全部対訳のものを教材として使う。
 オ () 全部原文 (注釈つき) のものを教材として使う。
 カ () 全部原文 (注釈なし) のものを教材として使う。
 キ () その他

(単位：%)

学 年 度 学 校 項 目	中 3			高 1						高 2						高 3								
	52 本	53		52			53			52			53			52 本	53 本							
		A	本	計	C	本	計	A	B	C	D	本	計	A	B			C	D	本	計			
ア	3	6	4	5	6	6	8	8	20	4	7	8	9	8	3	4	4	10	8	10	7	8	3	13
イ	4	11	4	7	16	3	8	9	11	13	18	2	10	10	2	4	8	23	14	18	6	14	2	3
ウ	36	16	13	15	20	15	17	8	16	22	13	8	13	29	7	13	12	9	15	25	6	13	7	5
エ	36	16	36	26	14	17	16	13	23	10	16	45	23	2	21	16	13	23	21	16	17	18	15	21
オ	37	51	43	47	48	63	58	56	32	48	43	41	44	56	56	56	50	36	40	34	63	45	62	52
カ	5	12	8	10	8	8	8	11	6	4	1	5	6	12	13	12	17	2	1	4	9	6	10	8
キ	8	3	4	4	1	5	4	5	3	1	2	5	3	5	6	5	8	8	3	2	3	5	10	1
計	129	115	112	113	112	116	117	110	111	102	101	114	108	110	107	110	112	110	101	110	110	109	110	102

(2) 特に、古典の㊸語彙の扱いについて、どの方法がよいと思いますか。

ア () 作品の読解に即して、そのつと学習する。

ア () 必要に応じてまとめて学習する。

ウ () 一定期間、系統的にまとめて学習する。

エ () あまり深入りしないで意味のとれる程度に学習する。

オ () その他 (㊸・㊹)の記号を明記して書きなさい。

(単位：%)

学 年 度	中 3			高 1						高 2						高 3							
	52 本	53 A	53 本計	52			53			52			53			52 本	53 本						
ア	68	61	64	72	65	68	66	43	66	54	73	61	83	56	63	60	53	62	66	62	61	58	38
イ	24	16	20	16	24	21	13	21	17	18	20	18	6	24	19	23	16	21	16	21	19	25	27
ウ	15	11	14	11	16	14	6	3	7	3	20	9	4	24	19	16	6	7	7	21	12	22	29
エ	12	15	14	12	9	10	22	28	8	12	6	15	15	8	10	15	23	11	21	5	15	10	10
オ	4	0	1	0	2	1	1	1	2	0	3	1	2	3	3	10	3	1	1	3	3	3	2
計	123	111	112	111	116	114	108	96	99	87	122	104	110	114	114	123	102	101	110	112	110	118	107

(3) 特に、古典の㊸文法の扱いについて、どの方法がよいと思いますか。

- ア () 作品の読解に即して、そのつど学習する。
- イ () 必要に応じてまとめて学習する。
- ウ () 一定期間、系統的にまとめて学習する。
- エ () あまり深入りしないで意味のとれる程度に学習する。
- オ () その他 (㊸・㊹)の記号を明記して書きなさい。

(単位：%)

学 年 度 学 校 項 目	中 3			高 1						高 2						高 3								
	52 本	53		52			53			52			53			52 本	53 本							
		A	B	C	計	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M									
ア	20	28	26	27	33	24	27	37	32	19	18	29	27	23	24	24	27	31	27	49	29	33	26	16
イ	28	36	29	32	31	32	32	33	34	35	36	32	34	40	19	24	30	27	32	30	28	29	22	30
ウ	59	31	50	40	39	59	52	31	9	31	29	58	33	46	57	54	47	25	35	21	49	35	62	51
エ	10	14	12	13	7	5	6	10	27	8	10	6	12	10	10	10	13	23	10	15	7	13	10	8
オ	5	3	3	3	1	6	4	2	2	2	0	1	1	6	2	3	5	5	1	0	1	2	3	2
計	122	112	118	115	111	126	121	113	107	95	93	126	108	125	111	115	121	111	106	114	113	113	122	107

中3 V) (単位 人)

順位	作 品 名	53年度						52年度		
		計	A	B	C	D	本	計	C	本
1	奥 の 細 道	30					30			4(6)
2	竹 取 物 語	25	21				4			8(4)
3	伊 勢 物 語	12	12							
4	今 昔 物 語	11	2				9			22(1)
5	平 家 物 語	10	1				9			17(2)
6	万 葉 集	9					9			1(12)
7	徒 然 草	7	1				6			1(12)
8	土 佐 日 記	5	3				2			
"	宇 治 拾 遺 物 語	5	4				1			
10	枕 草 子	2					2			2(8)
11	玉 勝 間	2	1				1			
12	古 事 記	1	1							2(8)
"	源 氏 物 語	1	1							
"	義 経 記	1	1							
"	世 間 胸 算 用	1	1							
"	雨 月 物 語	1					1			
"	東 海 道 中 膝 栗 毛	1					1			
"	南 総 里 見 八 犬 伝	1					1			3(7)
"	百 人 一 首	1					1			
"	狂 言 (武 悪)	1					1			
"	藩 翰 譜	1	1							10(3)
"	易 経	1					1			
"	老 子	1					1			
"	論 語	1					1			
"	孟 子	1					1			
"	三 国 志	1					1			

中3 VI) (単位 人)

順位	作 品 名	53年度						52年度		
		計	A	B	C	D	本	計	C	本
1	平家物語	63	30				33			25(1)
2	土佐日記	28	15				13			8(6)
3	徒然草	25	15				10			22(2)
4	源氏物語	20	11				9			12(5)
5	今昔物語	16	6				10			20(3)
6	枕草子	15	6				9			8(6)
7	太平記	9	4				5			6(9)
8	方丈記	8	3				5			
9	古事記	7	3				4			
10	奥の細道	6	2				4			20(3)
11	伊勢物語	5	3				2			
12	万葉集	4	1				3			3(13)
"	更級日記	4	2				2			
"	宇治拾遺物語	4	3				1			7(8)
15	日本書紀	3	2				1			
"	大鏡	3	3							
"	折たく柴の記	3	3							
"	唐詩選	3	3							
19	風土記	2					2			
"	竹取物語	2					2			4(11)
"	蜻蛉日記	2					2			
"	義経記	2					2			
"	太閤記	2					2			
"	古今集	2	2							
"	芭蕉	2					2			

高1 V ((単位 人)

順位	作 品 名	53年度						52年度		
		計	A	B	C	D	本	計	C	本
1	平家物語	70	34	4	12	4	16	58(1)	9	49
2	徒然草	52	1	8	12	5	26	40(3)	12	28
3	今昔物語	39		1	18	3	17	46(2)	17	29
4	竹取物語	38	6	21	2	5	4	2(8)		2
5	枕草子	33		5	11	6	11	15(5)	6	9
6	更級日記	23					23			
"	奥の細道	23		1	14		8	9(6)	2	7
8	古事記	21	19	1			1	2(8)		2
9	源氏物語	14		2	2	3	7	2(8)		2
10	万葉集	13	6	3		1	3	1(12)		1
11	宇治拾遺物語	10		1	1	4	4	21(4)	3	18
12	伊勢物語	5		1		2	2			
13	唐詩選	3					3	1(12)		1
14	落窪物語	2					2			
"	堤中納言物語	2		2				1(12)		
"	大鏡	2	1				1	2(8)	2	
"	源平盛衰記	2					2			
"	百人一首	2	1			1				
"	般若心経	2		2						
"	杜甫	2					2			
"	漢詩	2					2			
"	十八史略	2					2	1(12)		1

高1 VI) (単位 人)

順位	作 品 名	53年度						52年度		
		計	A	B	C	D	本	計	C	本
1	源氏物語	80	11	9	16	10	34	27(4)	8	19
2	平家物語	72	5	4	13	11	39	49(1)	11	38
3	徒然草	53	4	5	8	11	25	32(2)	9	23
4	土佐日記	47	11	3	9	8	16	16(8)	5	11
5	今昔物語	36	5		12	3	16	19(5)	9	10
6	枕草子	35	3	8	4	4	16	28(3)	11	17
7	万葉集	27	8	6	1	3	9	13(9)		13
"	奥の細道	27	3	4	7	5	8	18(6)	4	14
9	古事記	14	7	4	1	1	1	2(24)	2	
10	更級日記	13	2		3	2	6	12(10)	3	9
"	宇治拾遺物語	13	1	2	9	1		7(11)	3	4
12	太平記	12	5				7	17(7)	2	15
13	伊勢物語	11		2	3	1	5	3(21)		3
14	方丈記	9	4			2	3	6(12)		6
15	大鏡	8	1		1	2	4	5(14)	2	3
16	蜻蛉日記	7		2	1	1	3			
17	竹取物語	6	2	1	1	1	1	6(12)	6	
18	論語	5					5	3(21)		3
"	杜甫	5					5			
"	漢詩	5					5	4(16)		4
21	保元物語	4					4	4(16)		4
"	平治物語	4					4	4(16)		4
"	古今集	4	1		1		2	5(14)	2	3
"	史記	4	1				3			
"	三国志	4					4			
26	日本書紀	3	3					3(21)		3
"	西鶴	3	2				1			
"	信長公記	3	3							
"	新古今集	3			1		2			
"	十八史略	3	1				2	4(16)		4
"	故事成語	3					3	4(16)		4

高2 V) (単位 人)

順位	作 品 名	53年度						52年度		
		計	A	B	C	D	本	計	C	本
1	徒 然 草	80	18	4	14	9	35	62(1)	12	50
2	枕 草 子	68	24	2	15	12	15	24(2)	9	15
3	平 家 物 語	49	4	1	12	6	26	19(3)	8	11
4	伊 勢 物 語	31	1	2	5	8	15	19(3)	2	17
5	今 昔 物 語	30	9		6	9	6	12(6)	2	10
6	万 葉 集	27	8	1	8	1	9	13(5)	2	11
7	方 丈 記	19	14			2	3	2(13)		2
8	竹 取 物 語	15	2	11	1		1	1(24)		1
"	土 佐 日 記	15	2		2	6	5	6(10)		6
"	古 今 集	15	2		2	1	10	2(13)		2
11	源 氏 物 語	12	1	2	1	2	6	11(7)	1	10
12	宇 治 拾 遺 物 語	8	2	2		1	3	8(8)	4	4
"	奥 の 細 道	8		2	1	3	2	8(8)	1	7
14	古 事 記	7			6		1			
15	紫 式 部 日 記	3	1				2	1(24)		1
"	大 鏡	3	1				2	3(12)	1	2
17	和 泉 式 部 日 記	2	1				1	1(24)		1
"	栄 華 物 語	2					2			
"	更 級 日 記	2					2	2(13)		2
"	新 古 今 集	2				1	1			
"	史 記	2					2	2(13)		2

高2 VI) (単位 人)

順位	作 品 名	53年度						52年度		
		計	A	B	C	D	本	計	C	本
1	源氏物語	79	14	6	18	7	34	42(1)	12	30
2	平家物語	54	26	4	6	7	11	14(5)	2	12
3	枕草子	37	10	3	8	2	14	19(2)	4	15
"	徒然草	37	10	6	5	4	12	18(3)		18
5	土佐日記	28	6	1	5	6	10	9(9)		9
6	万葉集	22	7	1	3	3	8	11(8)	2	9
7	今昔物語	21	10	1	1	5	4	8(10)	3	5
8	方丈記	15	5			2	8	14(5)	3	11
9	伊勢物語	13	2	2	3	3	3			
"	奥の細道	13	2	3	2	2	4	15(4)	3	12
11	古事記	11	6	1		1	3	7(13)	4	3
"	蜻蛉日記	11	2	1	1		7	8(10)	3	5
"	宇治拾遺物語	11	6	1		1	3			
14	太平記	9	4		1	1	3			
"	新古今集	9	1	1	1		6	4(16)		4
16	更級日記	8	3	3	2			13(7)		13
17	日本書紀	7	1	3	1		2			
"	竹取物語	7			3	3	1	4(16)	4	
"	紫式部日記	7	2		1		4	7(13)		7
"	古今集	7	3	1	1		2	3(24)		3
"	百人一首	7	1	5			1			
22	和泉式部日記	6			2		4			
"	雨月物語	6					6	7(13)	3	4
24	大鏡	5	1				4	8(10)		8
"	玉勝間	5	1				4	4(16)		4
"	史記	5	2				3	2(28)	2	
27	李白	4	3				1	4(16)		4

高3 V) (単位 人)

順位	作 品 名	53年度						52年度		
		計	A	B	C	D	本	計	C	本
1	源 氏 物 語						26			16(3)
2	徒 然 草						18			33(1)
3	枕 草 子						17			7(9)
4	伊 勢 物 語						12			15(4)
5	今 昔 物 語						8			10(7)
6	平 家 物 語						6			22(2)
7	更 級 日 記						5			4(10)
"	方 丈 記						5			13(5)
9	宇 治 拾 遺 物 語						3			
"	奥 の 細 道						3			12(6)
"	万 葉 集						3			4(10)
12	土 佐 日 記						2			
"	大 和 物 語						2			1(22)
"	大 鏡						2			2(16)
"	建礼門院右京大夫集						2			
"	問はずがたり						2			
"	雨 月 物 語						2			2(16)
"	漢 詩 文						2			

高3 VI) (単位 人)

順位	作品名	53年度					52年度			
		計	A	B	C	D	本	計	C	本
1	源氏物語						22			48(1)
2	蜻蛉日記						11			16(5)
"	平家物語						11			34(2)
4	更級日記						7			
"	大鏡						7			21(3)
"	西鶴						7			
7	大和物語						5			
"	紫式部日記						5			11(6)
"	宇治拾遺物語						5			11(6)
"	徒然草						5			8(11)
"	太平記						5			7(13)
12	伊勢物語						4			3(23)
"	落窪物語						4			
"	今昔物語						4			21(3)
15	和泉式部日記						3			5(16)
"	とりかへばや物語						3			
"	堤中納言物語						3			
"	雨月物語						3			5(16)
"	漢詩						3			3(23)

アンケートの結果(その二)
(単位 人)

学 年	中			高			一			二			高 三		
	記 述 の 内 容	A	本 校	A	B	C	D	本 校	A	B	C	D	本 校	本 校	本 校
I) 意義・目的	19	13	12	8	6	1	25	30	8	9	14	26	23		
A 肯定的な内容	12	9		2	1	1	20	15	3		3		21	7	
B 中間的な内容	4	3		6	3	3	5	13	1		6		4	15	
C 否定的な内容	3	1		4	2	1	0	2	5		4		1	1	
II) 興味・関心	14	15	7	11	5	8	4	12	10	9	15	9	8		
A 肯定的な内容	7	10		5	3	0	2	9	1		1		7	4	
C 否定的な内容	7	4		2	2	8	2	3	5	8	13	2		4	
III) ㊸古文の表現	9	6	7	3	4	3	12	7	7	4	14	8	4		
A 肯定的な内容	4	2		4	1	3	7	2	0		4		5	4	
B 中間的な内容	3	2		1	1	0	4	2	0		3		2	0	
C 否定的な内容	2	2		2	1	0	1	3	5	1	1		1	0	
㊹古語	9	14	7	2	4	3	10	10	6	4	14	10	4		
A 肯定的な内容	2	5		3	2	2	3	5	0		4		7	3	
B 中間的な内容	4	4		1	1	0	4	2	0		3		2	0	
C 否定的な内容	3	5		3	1	1	3	3	4	1	1		1	1	
IV) 文語文法学習上の困難点	7	44	17	37	8	10	14	14	14	10	4	9	11		
A 困難点なしとする内容	1	1		3	0	0	2	5	0	1	0		2	0	
B 具体的な指摘をしているもの	2	5		7	4	4	10	4	1	5	2	7	9		
C すべてが困難とするもの	4	9		7	33	4	2	5	8	4	1	0	3		

学 年	中			高			一			二			高 三	
	A	B	C	A	B	C	D	本 校	A	B	C	D		本 校
記 述 の 内 容														
V) 今までに読んで読んだ古典作品で														
B 興味なし	45	50	32	63	29	40	33	31	94	20	53	30	34	
①読解が難しい	9	18	15	20	17	13	13	15	22	4	27	4	8	
②接した作品が少ない	21	16	7	8	6	7	11	0	15	0	2	5	3	
③作品内容に批判的な方向	3	7	5	11	1	12	4	5	15	0	8	1	3	
④その他の理由	12	5	5	12	8	8	5	11	25	13	16	8	13	
Ⅳ) (1)授業の進め方	9	14	6	13	1	4	19	16	13	9	11	4	21	
A 教師の解説・説明のみ	2	3	1	1	0	0	6	1	5	2	0	2	12	
B 教師の解説中心から、生徒へ	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	
C 生徒の発表を中心に	1	1	1	0	0	0	0	4	0	1	0	1	1	
D その他	5	10	4	12	1	3	12	11	11	4	8	0	8	
(2)教材の形態	3	5	5	4	1	2	8	7	10	1	3	4	2	
A 現代語訳を含む内容のもの	1	4	2	3	0	2	7	2	3	0	1	1	1	
B その他のもの	2	1	3	1	1	0	1	5		1	1	3	1	
(3)①語彙 ②文法の扱い方	9	4	1	3	2	0	6	12	11	0	1	7	3	
A 語彙	3	1	0	1	0	0	4	9	4	0	0	4	1	
B 文法	4	1	1	2	2	0	2	3	7	0	0	2	1	
C その他	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	

アンケートの結果 (その三)

(単位 %)

年 度	51	52	53	年 度	51	52	53	年 度	51	52	53
I 次のことについて				III 文語の文法について				VI 古典学習上の困難点			
ア 口語の文法	100	100	100	ア 名詞(含代名詞)	9	9	10	①文法について			
イ 文語の文法	32	36	41	イ 動 詞	27	14	21	ア 学習しにくい 勉強法がわからない	27	50	23
ウ 古 文	98	100	100	ウ 形 容 詞	16	16	15	イ 助 動 詞	18	66	72
エ 和歌・俳句	98	100	95	エ 形 容 動 詞	16	16	8	ウ 助 詞	11	61	54
オ 漢 文	45	39	64	オ 連 体 詞	5	5	5	エ 参考書 問題集 の選定	5	39	23
カ 漢 詩	73	77	74	カ 副 詞	5	7	5	オ 活 用 語	2	36	33
				キ 接 続 詞	2	5	5	カ 用言の用法	2	34	28
II 口語の文法について				ク 感 動 詞	2	5	8	キ まとめてほしい	2	43	31
ア 名詞(含代名詞)	91	98	97	ケ 助 動 詞	16	18	10				
イ 動 詞	100	100	100	コ 助 詞	14	18	13	VI②古文について			
ウ 形 容 詞	100	100	100	サ 補 助 用 言	2	0	0	ア 語 の 意 味	18	45	49
エ 形 容 動 詞	100	100	100	シ 敬 語 法	5	0	0	イ 文 の 意 味	11	43	31
オ 連 体 詞	91	100	100	V 古典作品について				ウ 勉強のしかた	7	48	28
カ 副 詞	93	100	100	ア 竹取物語	9	7	13	エ 参考書 問題集 の選定	7	32	28
キ 接 続 詞	93	98	97	イ 枕 草 子	75	75	77	オ 歴史的背景	5	18	5
ク 感 動 詞	91	89	97	ウ 説 話	43	59	62	カ 訳 し 方	2	55	28
ケ 助 動 詞	98	95	100	エ 平家物語	48	70	51	キ どこまで読みとるか	2	41	26
コ 助 詞	91	93	95	オ 徒 然 草	70	95	87				
サ 補 助 用 言	70	73	85	カ 狂 言	34	39	46	VI③漢文について			
シ 敬 語 法	66	59	77	キ 和 歌	89	93	85	ア 漢 字	25	36	44
ス 文節の関係	80	84	87	ク 俳 句	75	84	85	イ 勉強のしかた	14	41	26
		59		ケ 論 語	36	45	36	ウ 読み方・表現	9	27	31
IV 古文における 次のことについて				コ 漢 詩	55	75	67	エ 文 の 意 味	7	43	28
ア 枕 詞	84	80	82	サ 故事成語	43	57	62	オ 語 の 意 味	2	52	38
イ 序 詞	2	20	21	シ そ の 他				カ 時代世相と 内容の読みとり	2	32	23
ウ 掛 詞	41	48	54	○紫式部日記	5			キ 参 考 書	2	30	23
エ 縁 語	16	23	26	○奥の細道	5	9	3	ク 適当な読み物を	2	39	28
オ 対 句	39	36	49	○万葉集		2		ケ さっぱりわからない	2	9	5
カ 係り結び	70	89	79	○源氏物語		2					
キ 確定各件 仮定	27	20	23	○西 鶴			3				
				○(忘れた)			3				

— 中間報告 —

考察と今後の問題について

この研究は、今後もしばらく継続して行う予定であり、資料としても不十分な点が多々あるので、ここでは概括的な考察にとどめる。しかし、そこから問題を探り、これからの研究の具体的な方法を考える手がかりとしたい。

考察にあたっては、本年度（53年度）の合計された数字に基づいて行うことにする。

I 古典学習の意義・目的について

ア・イ・ウ・エの間に大差はなく、学年進行に伴う著しい変化もない。オにおける否定的な数字も極めて少なく、各人が何らかの意義を見出だそうとしているように見える。

II 古典学習上の興味・関心について

ア・イに集中し、ウがそれに続いているが、ウは学年進行に伴い減少している。表現に対する馴れと同時に、内容的な深まりを求めていこうとする態度の現れであろうか。オにおける否定的な数字が、Iに比べかなり増えているのは注意を要する。

III ㊸古典の表現について、学習上の困難度・興味の程度

ア・イ合わせると各学年とも約80%になる。生徒にとって難しいのは確かである。しかし、イが50%前後あることは、やれば興味が持てるということであろう。問題は、アの20~30%の生徒で、興味を持たせる（やる気を起こさせる）には、どう指導したらよいかということである。

㊹古語について、学習上の困難度・興味の程度

ア・イ合わせると各学年とも約70%。全体的に㊸に似ているが、㊸に比べ、関心度はやや低い。

IV 文語文法について、学習上の困難点

各学年ともイが50%以上あり、次いでウが30~40%ある。難しさの順序から言えば当然であるが、数字としては思ったより少ない気がする。学年進行に伴って、アが減り、エが増えるのは予想されたところで、特に、エは学習する教材との関係が深いと思われる。

V 興味を持った古典作品名とその理由

挙げられた作品が、学習した教材と密接につながるのは当然である。理由としては、低学年における「わかりやすさ」ということに注目したい。これは、その文章がやさしく、理解しやすいということだけではなく、多少文章は難しくても、以前なんらかの形でその作品に接したことがあり、親近感が持てるということである。古典入門としての教材の選定には大事な要素だと思われる。

なお、高学年では、学力及び精神面の発達に伴い、ものの見方・考え方といった内容的に深まりのあるものを求めてくるのも自然の成り行きであろう。

VI 今後読んでみたいと思う古典作品（作者）名

Vと共通点があるように思われる。さらに、文学史をどのように取り扱ったらよいかも問題となろう。

VI 古典の授業の進め方に対する要望

(1)授業形態、(2)教材の形、(3)古語・文法の扱い方、いずれも一般に行われている形態を支持しているように見受けられる。しかし、(1)について言えば、Aが半数近くを占め、Iが極めて少ないことは、生徒の消極的な姿勢を示すものであり、この姿勢を少しでも変えさせることが、われわれにとって最大の問題である。

VII 意識の変化について

回答者数は半分に満たない。そのうち、A「よい方向に」とする者が約60%ある反面、B・Cの「悪い方向・変化なし」とする者の数もかなり多い。低学年において「変化なし」とする数が多いのは、日が浅く、当然と考えられるが、高学年の場合は、将来の進路との関係—大学受験との関連—によるものであろうか。また、過半数を占める無回答者の意識について判断することは難しいが、楽観的な見方はできないと思う。

次に、今回までの調査に基づき、反省すべき点をあげ、今後の研究の指針にしたい。

1. 全日制・普通科に学ぶ生徒のみを対象にしたのは、現段階においては、やむを得ないと考えているが、調査した5校のうち、男子校が本校を含めて2校あり、女子校がない。そこに傾りがなかったか。また、地域的にも、比較的本校に近い区域に限られており、その点にも問題はないか。
2. 無記名の調査であったため、性別による傾向がわからない。また、今後、調査・研究を続けて行く際、個人的な発達・変化、あるいは、他教科との関連、個性的なものとの結びつき等をとらえることができない。
3. 学習した教材、文法事項等を明確にしていれば、特にIV・Vにおける授業との関連性を、より正確にすることができるのではないか。

以上のことを反省しながら、今後もアンケート調査を行うとともに、教材の選定・カリキュラムの編成・授業方法等について検討・研究し、将来、実験学習ができるように進めていきたい。